

地域インフラ支える企業体に

■3社の展開エリアデータ (2025～26年時点)

宮城県石巻市	面積	555.45km ²
	人口	12万9257人
	高齢化率	35.9%
福井県勝山市	面積	253.88km ²
	人口	2万253人
	高齢化率	40.5%
高知県四万十市	面積	632.32km ²
	人口	3万619人
	高齢化率	38.5%



特定地域サービスの創設など、国は地方・過疎地での介護経営の厳しさを懸念して始めたが、制度に追いついていない。地域全体に視野を広げ、変化に先んじた事業モデルをつくる動きが、介護事業者には求められている。地方から、その価値ある事業を生み出せる、と、来るべき未来に向けて着々と準備を進めている経営者はいく。東北、北陸、四国それぞれ、事業を行う、ばんぶきん(宮城県石巻市・渡邊智仁社長、医療法人社団オレンジ(福井県勝山市・社会福祉法人勝山福祉会(同勝山市)の紅谷浩之理事長、あらたケアサービス(高知県四万十市・荒川泰士社長)にこれらの介護経営について議論してもらった。

枠組みを超えた`多様化、へ` 「制度内で課題解決」限界

人口減少地域では、介護事業者が担う役割が都市部とは異なる。制度に先んじた事業モデルをつくる動きが、介護事業者には求められている。地方から、その価値ある事業を生み出せる、と、来るべき未来に向けて着々と準備を進めている経営者はいく。東北、北陸、四国それぞれ、事業を行う、ばんぶきん(宮城県石巻市・渡邊智仁社長、医療法人社団オレンジ(福井県勝山市・社会福祉法人勝山福祉会(同勝山市)の紅谷浩之理事長、あらたケアサービス(高知県四万十市・荒川泰士社長)にこれらの介護経営について議論してもらった。

ばんぶきん事業概要

職員数	263名
展開事業所数	
訪問介護(サテライト含む)	2
訪問入浴	1
居宅介護支援	1
福祉機器/介護用品販売・レンタル・住宅リフォーム	1
配食サービス	1
グループホーム	3
グループホーム共用型認知症対応型デイ	2
サテライト含む	5
有料老人ホーム	1
小多機能(サテライト含む)	4
共同生活援助(介護サービス包括型)	2
グループ法人職員数	65名
訪問介護(サテライト含む)	2
定期巡回サービス	1
タクシー	1
サ高住	1



ばんぶきん 渡邊 智仁 社長

1996年に宮城県石巻市で創業。在宅系のほか施設系サービスや総合事業、居住支援など多岐に事業を展開。東日本大震災被災後はヘルパー人材確保にも取り組んだ。一般社団法人全国介護事業者協議会(民協) 副理事長(東北地区担当)

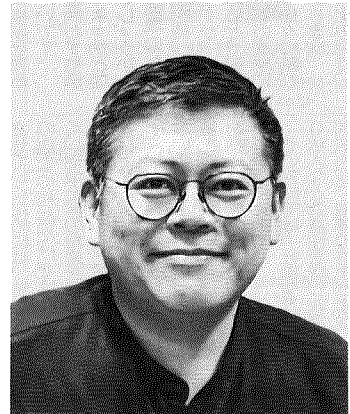
。事業において意識している点はありますか。紅谷 地域では「暮らしが、医療がある」という視点が非常に重要で、医師だけが努力して地域を支えるのではなく、介護・福祉のチームが一体となって取り組むことが不可欠です。医師不足の今、逆にこうした視点から地域づくりができるチャンスと捉えています。皆さんは今、一番の課題は何ですか。紅谷 経営を引き継いだ勝山福祉会は40年以上高齢者福祉に力を入れていると、経営者として感じています。一筋で介護事業を続けてきた勝山福祉会が、地域に必要とされているサービスを、人口1000人規模の集落でどう展開していくか、という課題があります。また、高齢者のシェアハウスをつくるには、検討している地域に、介護保険制度にない地域から避難してきた高齢者が多い中、閉鎖が続く切迫した状況を変えたいと活動が続けられました。5年前は、前か

地域別報酬、変化の契機

。自分が関わる産業は、介護事業を存続させるため活動している。高知県は人口減少率、高齢化率ともに全国トップクラス。加えて、中山間地域が非常に多いため訪問介護事業がほとんど閉鎖している中、新たな人材の流入が起きている。さまざまな試みを行っています。紅谷さんは医療介護を一体で展開している立場で、

学生、移住者流入の仕掛け

利用するとしても、介護保険以外に事業を担う必要はない。ばり継続は難しいと思います。あるとき、社会福祉協議会から「市内のヘルパー事業を統一しよう」という提案をもらいました。そのとき、介護保険制度が音を立てて崩れるような感覚がありました。利用者サービスを利用するかどうか、決定し、契約をするという介護保険の大前提が揺らぐ。この制度ができたことで、かつて地域社会が持っていた支え合いの機能が失われた。制度の枠組みから出て事業を担う必要はない、本質的な解決には至らない。そして勝山市も消滅可能性に



医療法人社団オレンジ・社会福祉法人勝山福祉会 紅谷 浩之 理事長
2011年に医療法人社団オレンジを設立し、在宅医療クリニックなどを運営。21年からは社会福祉法人勝山福祉会の経営も担う。MIKAWAYA21の保険外生活支援サービスモデル「まごころサポート」を社福の公益事業として初めて開始

オレンジグループ(オレンジ、勝山福祉会等)事業概要

職員数	173名
展開事業所数	
在宅医療クリニック	4
障害児通所施設	1
みんなの保健室	2
訪問看護	1
特別養護老人ホーム	1
通所介護	1

グループの一般社団法人も含む。株式会社は除く



あらたケアサービス 荒川 泰士 社長

高知県四万十市で訪問介護を2005年に開始。県ホームヘルパー協議会会長として、過疎地へのヘルパー派遣や高校生ヘルパー育成など、自治体とともに実施。全国ホームヘルパー協議会副会長

。現状、なにかに中山間地において社協や福祉が最後の砦となるケースが多いと思いますが、開通を余儀なくされるケースは多々あります。渡邊さんの言うように地域全体のインフラを多様な企業で役割分担するというのが、利用者のニーズに合ったサービスを提供するための重要な課題です。利用者のニーズに合ったサービスを提供するための重要な課題です。利用者のニーズに合ったサービスを提供するための重要な課題です。

あらたケアサービス事業概要

職員数	42名
展開事業所数	
訪問介護	2
居宅介護支援	1
住宅型有料老人ホーム	1

地域を`ホールディングス化` 過剰な行政依存はリスク

。地域を`ホールディングス化`。過剰な行政依存はリスク。でも、高齢者がその状態で生活を送れば、精神的・身体的に負担がかかる。ヘルパーが訪問時に店舗駐車を活用できる仕組みづくりを進めています。その代わり、スーパージョーには「高知県の在宅介護を支援している企業」として地域貢献のPRを行っています。また、高知県の在宅介護を支援している企業として地域貢献のPRを行っています。また、高知県の在宅介護を支援している企業として地域貢献のPRを行っています。